

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在していない。

2 重要な会計方針

- (1) 本会計は、私立学校の教職員等に支給する退職金を積立・運用するため、本事業に加入する会員からの負担金及び県の補助金を財源として運用し、当該会員の属する教職員等が当該会員の私立学校等を退職する際に、会員に対し退職資金として交付する事業である。本会計は、「全国退職金団体の会計処理に関する考え方」（平成19年3月12日作成）に準拠している。
- (2) 本事業において積立している「退職資金」は、中退共等が法に基づき実施している退職金共済制度に準ずる積立金であるため、公益法人会計基準及び企業会計基準に掲げる「退職給付引当金」「退職給付引当資産」とは別の負債認識とする。従って、「退職資金積立」に対する負債は「責任準備金」をもって当てる。
- (3) 「責任準備金」の算出方式は「私学退職金団体会計基準」に掲げる財政方式のうち、「加入年齢方式」を採用している。また、算出は、三菱UFJ信託銀行に委託し、厚生年金保険法に定める年金数理人等により算出しているが、貸借対照表への負債計上は便宜上特定資産額の合計額とした。
- (4) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的債券は、移動平均法による原価法を採用している。
ただし、債券金額と異なる価格で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

3 会計方針の変更

記載事項なし。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,605,200	0	0	7,605,200
小計	7,605,200	0	0	7,605,200
特定資産				
退職資金給付事業積立資産	3,650,148,623	180,771,512	0	3,830,920,135
定期預金	10,887,262	200,000,000	0	210,887,262
普通預金	96,156,004	117,068,306	0	213,224,310
有価証券	631,370,484	0	199,968,279	431,402,205
小計	4,388,562,373	497,839,818	199,968,279	4,686,433,912
合計	4,396,167,573	497,839,818	199,968,279	4,694,039,112

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	7,605,200	7,605,200	0	0
小計	7,605,200	7,605,200	0	0
特定資産				
退職資金給付事業積立資産	3,830,920,135	0	0	3,830,920,135
定期預金	210,887,262	6,000,000	500,000	
		4,387,262		100,000,000
				100,000,000
普通預金	213,224,310	135,398,000	1,100,000	76,726,310
有価証券	431,402,205	101,076,000	0	330,326,205
小計	4,686,433,912	246,861,262	1,600,000	4,437,972,650
合計	4,694,039,112	254,466,462	1,600,000	4,437,972,650

6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

科目	帳簿価格	時価	評価損益
東京都債 第3回	100,330,105	101,280,000	949,895
長野県債 第24-1回	129,996,100	130,195,000	198,900
大阪府債 第97回	50,000,000	50,355,000	355,000
長野県債 第25-1回	50,000,000	50,220,000	220,000
小計	330,326,205	332,050,000	1,723,795
地方公共団体	101,076,000	104,880,000	3,804,000
合計	431,402,205	436,930,000	5,527,795